

主要施策の概要

I 安心・支えあい最優先

市民の安全・安心の確保と、地域の支えあいを醸成していく取り組みを進める。

1. 防犯カメラによる安全・安心なまちづくりの推進 【予算額 7,200 千円】

- 昨年度に設置した小・中学校通学路の防犯カメラ750台に加え、自治会が1台2万円程度で防犯カメラを設置できるように、2年間限定で費用の9割を補助し、犯罪の未然防止と抑止力のさらなる向上を図る。

2. 「災害に強い箕面」の実現 【予算額 44,700 千円】

- 昨夏の台風・ゲリラ豪雨による風水害を教訓に、「(仮称)箕面市水防整備指針」を策定する。全市域の地形や河川・水路・雨水管等の水の流れを分析したうえで、市全体のトータルかつ抜本的な水防対策を進める。

3. 健康長寿の取組強化とがん検診無料化の継続 【予算額 368,431 千円】

- 「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、元気な高齢者や身体機能の回復をめざすかたのけに、介護予防教室の開催や地域の高齢者サロン等での健康・運動指導を実施し、市民の健康寿命をのばす。
- 「認知症初期集中支援チーム」の設置に向けて、新たに認知症地域支援推進員を配置する。
- 府内唯一のがん検診無料化を継続する。(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がん)

4. 高齢者・障害者等の移動を助ける「オレンジゆずるタクシー」の実証運行 【予算額 35,859 千円】

- 健康上などの理由で公共交通機関を利用しづらかったが、乗りたいときに乗られるよう、本年1月にスタートした「オレンジゆずるタクシー」の実証運行を継続し、利用状況を検証しながら、より便利で快適な移動サービスの提供をめざす。

5. 市立病院における医療の充実と経営改革 【予算額 464,389 千円】

- 内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」などの先進医療機器を導入し、より高度な医療体制の整備を図る。また、「市立病院改革プラン」に基づき、毎年約9.6億円(※)であった一般会計から経常的経費への繰出金(赤字補填)を“ゼロ”とし、完全黒字化に向けてさらなる経営改革を進める。※改革プラン策定前の過去10年間(平成11～20年度)の決算の平均値

6. 「合葬式墓地」の募集開始 【予算額 4,674 千円】

- 市立霊園において、最大1万人のご遺骨を共同埋葬できる「合葬式墓地」の利用募集を開始する。

II 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

1. 英語教育の充実 【予算額 102,730 千円】

- これまで7名だった英語指導助手を、約3倍の20名に増員する。全小・中学校20校に配置して、全学年で毎日、英語教育を本格実施し、子どもたちの国際理解やグローバル化社会を生き抜く力を育む。

2. 病気中の子どもを預かる「病児保育」の開始 【予算額 28,271 千円】

- 従来の「病後児保育」に加え、病気中の子どもを預かる「病児保育」を開始する。急な子どもの発病・発熱などに事前登録なしで即日対応し、子育てと仕事の両立をめざす保護者を強力にサポートする。

3. 子どもの貧困・不登校等に対する支援と「いじめ撲滅」対策の強化 【予算額 11,512 千円】

- 不登校の子どもの学習意欲の向上や相談相手となる「学生サポーター」を、従来の約2倍(80名体制)に増員するとともに、新たに、生活困窮や不登校等の子どもの学力保障・学習支援等を一体的に取り組む体制を整える。
- 「箕面市いじめ防止対策推進協議会」を設置し、いじめ撲滅に向けた対策を強力に推進する。

4. 教育環境の充実と通学路等の安全確保 【予算額 566,698 千円】

- 急増する彩都地区の児童・生徒に対応して、彩都の丘学園の敷地拡張と校舎増築に向けた設計に着手するとともに、各小中学校の体育館やフェンス、消防設備等の施設改修を実施し、教育環境の充実を図る。
- 豊川南小学校前や東保育所前の歩道改良などにより、安全な通学路を確保するとともに、歩道と分離した自転車レーンの設置に向けて、自転車走行空間のネットワーク化の検討を進め、急増する自転車対歩行者の事故防止対策を推進する。

5. 待機児童対策と子育て支援の充実 【予算額 2,703,022 千円】

- 子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、認可外保育施設2園を認可保育所へ、私立幼稚園2園を認定こども園へ移行させるとともに、小規模保育事業所等を4箇所新設し、保育定員を310名増加させる。加えて、「第三次箕面市子どもプラン」に基づき、平成31年度までに約500名の定員拡大を図り、年度途中の待機児童の完全解消をめざす。
- 「中学校卒業まで(通院・入院とも/所得制限なし)」に大幅拡大した子どもの医療費助成を継続する。

III 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

1. 北大阪急行線の延伸と周辺まちづくり 【予算額 1,826,023 千円】

- 2つの新駅と鉄軌道の詳細設計や許認可申請等の手続きを進め、平成32年度の開業をめざす。
- 「かやの広場」を残しつつ、バスロータリーなどの交通広場や、その上空を利用した商業・子育て機能を備える施設の検討を進め、ターミナル駅としての(仮称)新箕面駅周辺の整備を推進する。また、都市計画道路「萱野東西線」「芝如意谷線」の整備を進め、新駅へのアクセス性を強化する。
- 歩行者デッキや公園と一体となった開放感あふれる新駅の設計とともに、「グリーンホール」の建替移転など、新たな文化とビジネスの拠点となる(仮称)箕面船場駅周辺の整備を推進する。

2. 桜井駅周辺地区等の再整備 【予算額 304,291 千円】

- 平成26年5月に策定した「桜井駅周辺地区再整備計画」に基づき整備が進む民間商業施設の建替を支援するとともに、桜井駅前広場の実施設計や事業用地の取得を行い、にぎわいや活気あふれるまちの玄関口をめざす。
- 老朽化した西南公民館の建替に向けた詳細設計を進め、耐震性やバリアフリーの課題を解決し、公園等の周辺施設を含めて、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい施設整備を推進する。

3. ペットボトル全戸収集の開始 【予算額 65,492 千円】

- 従来のスーパーなどでの拠点回収を継続しながら、新たに月2回、市全域でペットボトルの全戸収集を開始し、資源リサイクルの推進と環境負荷の軽減を進める。

4. 箕面駅前第一駐車場・駐輪場のリニューアル 【予算額 672,378 千円】

- 駅前駐車場・駐輪場の平成28年度オープンに向けて、今春から建替工事に着手する。駐輪場を1階ワンフロアに集約するとともに、自動車駐車台数を20台増の285台に、自転車駐輪台数を65台増の744台にするなど収容可能台数を拡大する。また、駅前ビル2階と連絡通路でつなぎ、雨天時も濡れずに駅へのアクセスを可能とする。

5. 「中央公園」の整備による山なみ景観の保全 【予算額 132,640 千円】

- 箕面の山なみの中央に位置する区域を、地形や樹木等を最大限“そのまま”に残した「中央公園」として整備し、みどり豊かな山なみ景観を保全する。

6. 図書館等の月曜開館の実施 【予算額 89,715 千円】

- 月曜日の祝日化(ハッピーマンデー)に伴い、図書館や生涯学習センター等の休館日を変更し、月曜開館を実施して、市民の利用を拡大する。
- 公共図書館(7館)と学校図書館(20館)のシステムを一本化し、100万冊以上にのぼる蔵書の相互利用を図る。

7. 下水道使用料の値下げ

- 老朽化した管路の耐震化や更新を進めながら、経営改革の推進により生み出した黒字分を市民に還元すべく、下水道使用料の値下げを検討する。

<持続可能な財政運営>

- 昨年3月に制定した「箕面市財政運営基本条例」に基づき予算編成を行い、箕面の安定した財政を将来にわたって確実に引き継ぐ。
- 国が示す「新地方公会計制度」の適用に向けて、固定資産台帳の整備等を進め、これまで以上の行財政運営の透明化と効率化へとつなげる。 【予算額 4,303 千円】